

復興庁 地域づくりハンズオン支援事業 (専門家派遣型) 平成30年度 交流会型研修 参加者募集

復興庁では、平成30年度地域づくりハンズオン支援事業(専門家派遣型)(以下「ハンズオン支援事業」。)にお いて、各支援対象団体など、被災地域で活動している団体における取組の促進や効果的な実施を推進するために、交 流会型研修を実施します。

本研修では、年3回の研修を通じて、各団体や先進地の取組にふれることで、各々が取り組む地域課題の解決に向 けた戦略・行動を改めて明確にしていきます。また、「個人」として課題解決に求められる能力を引き上げ、「チー ム」として、最大限に機能させていくことを学ぶとともに、「プロジェクト」の成果拡大と地域内外の「ネットワー ク」の充実を図る事を目指します。

各地で活躍する参加者との交流を通じて、それぞれの取組や目指したい未来、取り組む過程において抱える悩みな どを共有しながら、各参加者の成長、取組の高度化だけでなく、未来を共に創っていく仲間探しにご活用ください。

【研修スケジュール】

(3回全てへの参加を推奨します。ただし一部のみの参加申込も可能です。)

●第1回目 テーマ【地域課題を共有する】 平成30年8月30日(木)~8月31日(金)

研修会場:宮城県女川町 まちなか交流館

概要:1日目 ハンズオン支援事業支援対象団体の現地視察① (日本カーシェアリング協会、野蒜まちづくり協議会、雄勝花物語) 2日目 女川町の事例紹介ならびに参加団体間の課題共有。

●第2回目 テーマ【「チーム」を強くする】 平成30年10月22日(月)~10月23日(火)

研修会場:山形県川西町 吉島地区交流センター

概要:1日目 人口約2.400人ほどの地域で子どもから高齢者までが住民 参加するまちづくりを担う団体、NPO法人きらりよしじまネット ワークを訪問し、フィールドワーク等を通して組織としての課題 解決のプロセスを学ぶ。

> 2日目 1日目の研修での学びを参考にしながら、各団体の課題の 解決に向けた戦略・行動を明確にする。

●第3回目 テーマ【「個人」を高める】 平成30年11月29日(木)~11月30日(金)

研修会場:宮城県気仙沼市 スクエアSHIP(仮)

概要:1日目 ハンズオン支援事業支援対象団体の現地視察② (気仙沼まち大学運営協議会ほか気仙沼フィールドワーク) 2日目 各団体のこれまでの取り組みを共有すると共に、 次の展開に向けたレバレッジポイント (個人の成長/ネットワークの拡充など)を見定める。

【募集定員】

・ハンズオン支援事業支援対象団体の職員 8名

・地域課題解決に取組む被災地の自治体・NPO等の職員、学生など 8名 【参加費】無料 ※会場まで(から)の交通費等は各自ご負担ください。 【応募】平成30年8月17日(金)締切

【申込方法等】

「参加申込書」に記入の上、右記提出先までEメールまたはFAX にてお申込みください。

(申込に際しては、「参加申込書」記載の留意事項を必ずご確認ください。)

第1回目研修スケジュール予定

8月30日(木)

10:00 女川町まちなか交流館集合 (全体の挨拶ならびに参加団体の紹介) その後、バスにてハンズオン支援先3団体の現場を訪問

その後、八人に Cハン人オン文援先3団体の現場を訪問 12:00- 日本カーシェアリング協会(石巻市) 13:30- 野蒜まちづくり協議会(東松島市) 15:30- 雄勝花物語(石巻市) 18:00- 女川町にて懇親会(女川町内に宿泊) ※現場訪問の詳細行程については変更の可能性もあります

8月31日(金)

17時終了予定

【研修コーディネーター】



株式会社 BOLBOP 代表取締役 茂木 崇史

東京大学経済学部卒業。 マッキンゼーアンドカンパニーに勤務後、㈱リンク アンドモチベーション(東証一部上場)にて、フ ランドマネジメント事業部執行役などを歴任。 そ に行うべく、平成25年に㈱BOLBOPを設立し、 代表取締役CED(Chief Ecosystem

Designer)に就任。 平成27年度より復興庁事業における自治体・ 地域づくり団体向け研修の企画・運営に従事。

【申込様式提出先(研修事務局)】 Eメール: sato.yoshitaka@jri.co.jp

FAX: 03-6328-0292

【お問い合わせ先】

お申込にあたりご不明な点がございましたら、上記 Eメールアドレスもしくは下記の研修事務局担当者まで お電話ください。

㈱日本総合研究所 佐藤 : 03-6833-0997 復興庁総合政策班 津田、三代川: 03-6328-0223